

俺の名前は薄井^{うすい}影道^{かげみち}。

何処にでもいる冴えない独身サラリーマンだ。

生まれてこの方彼女はおろか、

親しい女友達すら出来た事はない素人童貞。

平日は仕事に忙殺され、

たまの休みも特にやる事がなくダラダラ過ごす、
しょっぱい日々を送っている。

だが、こんな俺にもささやかな楽しみがある。

それは――

「おはようございます、おにいさん！
今日もいい天気ですね」

彼女の名前は高嶺^{たかね}なのは。

俺のアパートの近所に住む女子高生だ。

以前、彼女がうっかり落としそうになった荷物を、
偶然受け止めた事から顔見知りとなり、

それからは通勤途中に会うと、
こうして挨拶を交わすようになった。

その全てから育ちの良さが伝わる、
清純派現役女子高生との何気ないやり取りは、
疲れた俺の体に染みわたる、
一服の清涼剤となっていた。



「それじゃあ私こっちなんで、
今日もお仕事頑張ってくださいね！」

眩しい笑顔でそう言いながら駆けていく
彼女の後姿を見ながら、いつも密かに思う事。

(あんな娘が彼女になっってくれたらなあ……。)



だがそんな非現実的な願望が叶うはずがない。

“顔見知り”という関係性が発展することもなく、
毎朝訪れるこの至福の数分間だけを楽しみに生きる。

そんな日々がずっと続くと思っていた。

—そう、この時までには

その日、帰宅した俺はいつものように、

お気に入りのアダルトサイトを閲覧していた。

“おしゃぶりくらぶ”

生粋のフェラ好きな俺が最近見つけ、

ご最屑にしているサイト。

嘘か本当か、最近この辺りの高校を使い、

夜な夜なピンサロまがいな

クラブ活動を行っている集団がいるらしく、

ここは、その窓口というわけだ。

サイト内には所属している女子高生の情報他、

概要、料金説明、そして活動報告として、

“実際の情事の様子を撮影した動画”が

サンプルとして上げられている。

夜間とはいえ、そんな事を校舎内で行って問題ないのか、と思うかもしれないが、

どうやらこのクラブの事は学校関係者、

とりわけ上級役職の男性陣には広く知れ渡っており、

彼らを“お得意様価格”で接待する代わりに、

その権力をもって、クラブに関する事は

全て黙認されているらしい。

実際クラブに足を運んだことはなかったが、

更新頻度が高いサンプル動画は、

オカズとしての役割を充分に果たしてくれた為、

俺は満足していた。

どうやら今日も新着動画があがったらしい。

俺はいそいそとパンツを降ろしながら、

再生ボタンをクリックした。



「おおおお…」

そ…そこは…

おおお…」

「え〜〜〜♡
ここでに決まつへるじゃないでふはあ〜〜〜♡
れろれろれろ♡」

● REC

TCG

03

H

08

0P

「私の舌気持ちいい?」

「どうれふはあ〜〜〜校長先生え〜〜〜♡

「おおおおお〜〜〜たまらんよ…」

「一体そんな舌使い、どこで覚えたんだね」



TLCS STD

((())) On
Full Auto

SHT:OFF



08 「カレン〜 男の人のオチンチンのニオイ

03: だあ〜いすきなんでふう♡

特に蒸れた中年男性の kari 首部分のニオイに
病みつきでえ♡ スーハーサーハー…!」

● REC TCGG

「おほお… はあはあ…

な…なんてスケベな娘なんだ…

まさか我が校の誇るピクくんは、

こんな一面があったなんて… おおおっ!」



TLCS STD

On Full Auto

SHT:OFF



08
0P

今日は〜カレンのお口で
い〜っばらドピュドピュしてえ

日頃の疲れを癒していつてふらはいねえ♡

TCG 00

REC

「はあはあ…」

そこいらの風俗嬢なんかとは
比べ物にならない程のテクニクだ…

一体何人のチンポを啜えてきたら、

こんな事ができるようになるのかね…うっ…



TLS STD

On
Full Auto

SHT:OFF



120min

39min

● REC

TCC

00

00:14

08

OP

「そ...それでどうしたのかね...」

「おっ...おおおっ...」

TL S STD

On

Full Auto

「あの時はさすがにドキドキしましたあ♡」

「この間、お父さんそつくりのお客さんが来た事があって♡」

「あ...でもお」

「も...おやめてくらはいよお校長先生え♡」

SHT:OFF

CH1
 CH2





120min

「ハアハア...おほおつ...」

「ますますけしからん...」

「うっ...父親似の男に興奮するとは...」

● REC

TCC

08:00

08:00P

「連続5回射精させちゃいましたあ♡」

「いつもよりちよ〜と張り切っちゃって」

「カレンも興奮しちゃってたのかあ♡」

「最後の方ビクビク痙攣してて、」

「ちよつとやりすぎちゃったなあって反省してます(笑)」



TLCS STD

((())) On

Full Auto

SHT:OFF



12min

39min

「...」

下の口は処女なのに、上の口はビッチとは...

REC TAG

れろれろ♡

結婚してからじゃないとって思ってるんれろ♡

やっぱりそういう事は

「え〜」でもカレン〜♡
03:408
H こう見えてまだ処女なんですすよお♡

TLCS [STV]

On Full Auto

SHT:OFF

CH1
CH2

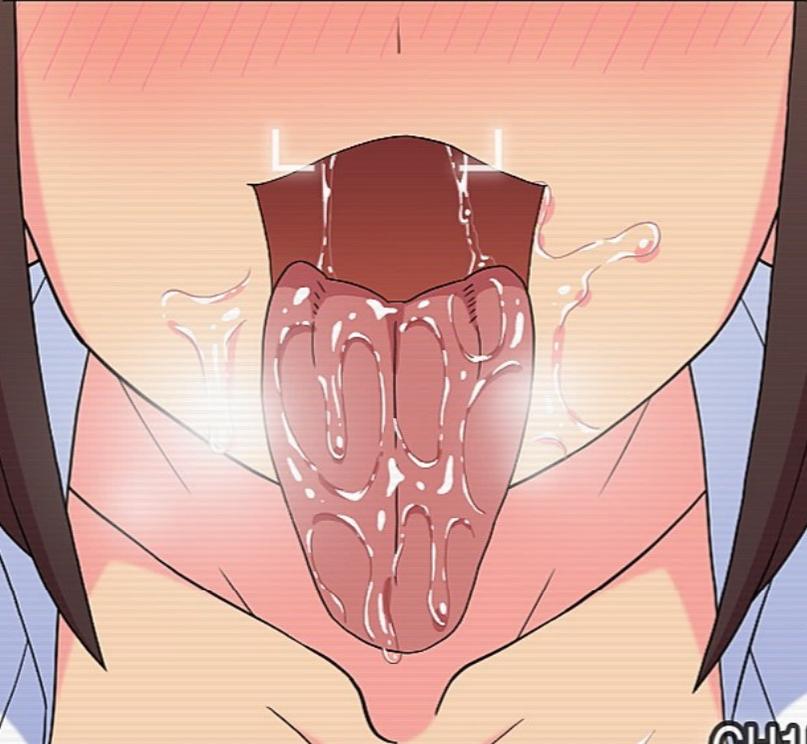


● REC TCGG 00:03:11 8

「先生の黒ずんだタマタマに溜まってる、
熟成されたドロドロザーメン」

「いっっぱい飲ませてえ♡」

「自分の娘よりも若い、現役女子○生のお口の中に
その欲望まみれの汚いザー汁
ビュルビュル出してくらはいら♡」



TLCS STD
♡ On
Full Auto

SHT:OFF



120min

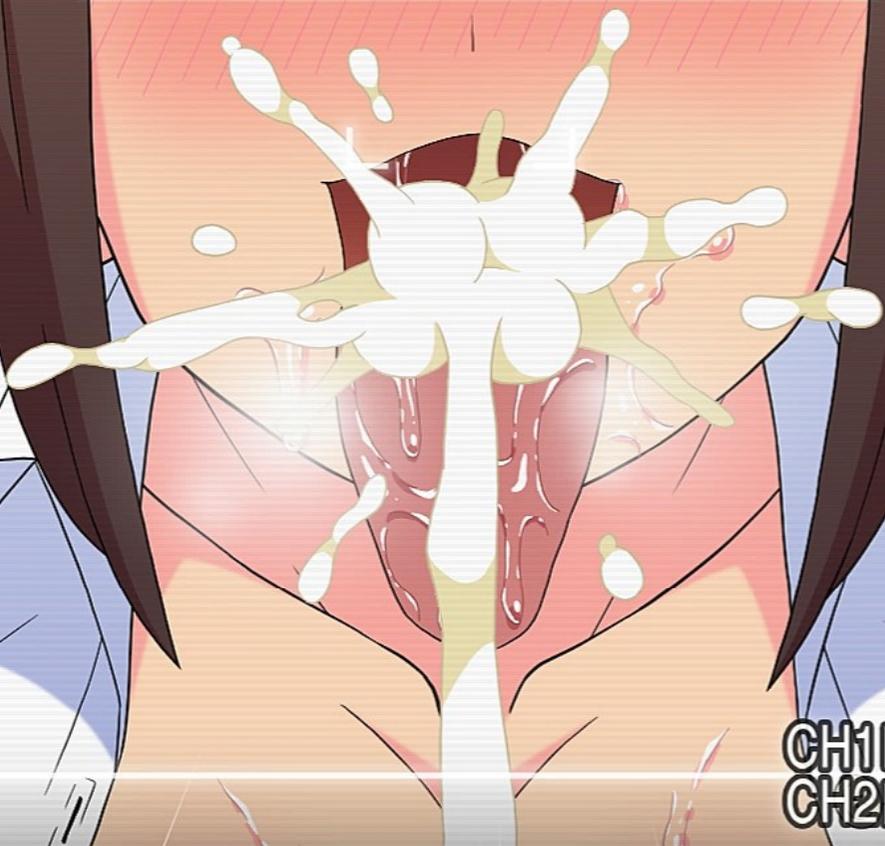
9min

● REC TCGG 00:03:14:08

ドピュツ!!
ビュルルル

「...」

「イグツツ!!」



あはっ♡

勢いすいすい♡

TL STD

On Full Auto

SHT:OFF

CH1
CH2

120min

089min

REC

TCG 00:03:14.08

HQ COP



TLCS STD

On

Full Auto

SHT:OFF



120min

39min

● REC

TCGG 00:03

08

OP

匹残らずカレンの胃液で消化してあげますねえ

「受精したい♡受精したい♡って
必死にピチピチしてる哀れなオタマジヤクシ、」

TL (S) STD

♡ On

Full Auto

SHT:OFF

CH1
CH2



120min

39min



REC

TCG 00:03:14:08

HQ 60P



TLCS STD

On

Full Auto

SHT:OFF





20min
20min

REC

TCC

0:00

14:14

8:08

頭がポオ〜としてくるんです
「♡」

♡はあ♡ このニオイ嗅いでると、

♡ス〜ハ〜♡ ス〜ハ〜♡

♡あは♡ カレンのお口、
きつついイカのお刺身みたいな臭いがするう♡

♡えへへ♡ ぜ〜んぶ飲んじやいましたよ♡

♡ふはあ♡



TLCS STD

On
Full Auto

SHT:OFF



● REC TCGG 00:03:14.78

「……どうでしたあ？校長先生♡
スッキリできましたか？♡」

「クスクス♡」

「はあ……はあ……」

「いや……今日も最高に気持ち良かったよカレン君
また今後も是非よろしく頼むね……」

「は……♡ たつくさんザーメン溜めたらあ

「またいつぱい出しに来てくださいなえ♡」

TLC STD
On Full Auto

SHT:OFF

CH1
CH2

動画を視聴し終えた俺の頭は混乱していた。

目元こそ黒塗りにされてはいたものの、

そこには間違いなく、高嶺なのは、その人が映っていた。

毎朝会う彼女の姿からは、

到底想像もつかないような隠語を吐き、

まるで好物を貪るかのように、

中年男性のそれを舐め回す姿に、

俺は鈍器で頭を2、3度殴られたような感覚を覚えた。

が、それと同時にムラムラと沸き上がる

“ここに行けば、俺も彼女にフェラをしてもらえる”

という興奮を抑えることができなかった。

結局その晩、俺はその動画を

何度もリピートしながら計3回も射精した。